

平成25年度

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター

活動報告

特定非営利活動法人
かまくら地域介護支援機構

1. はじめに

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター（以下サポートセンターという）は、平成25年7月1日に高齢者が地域の中で安心して暮らしていただけることを目的にして、在宅福祉サービスセンター内に開設された。開設以前の5月16日から鎌倉市からの受託事業としての活動を開始しており、この報告書は平成26年3月31日までのサポートセンターの活動を報告するものである。

2. 設立までの経緯

平成19年度に鎌倉市の相互提案協働事業が行われ、住民参加型の高齢者生活支援グループ6団体で構成する「鎌倉市ホームヘルプサービス連絡会」が応募した「在宅高齢者の生活支援サービス調整機関の検討委員会設置及び運営事業」が採択された。連絡会では、元気で暮らしている高齢者の方に昔のような隣近所のちょっとしたお手伝いがあれば、そのまま地域の中で元気に過ごしていけるのではないかと話し合い、その仕組みづくりを検討するために相互提案協働事業に応募した。

平成20年度から、地域の福祉団体や在宅サービスを提供する関係機関により検討委員会が開催され、その後6年にわたり在宅高齢者をめぐる様々な生活課題とその解決策を検討してきた。検討する中で、まず高齢者の生活支援を担う人材を地域（日常生活圏域）の中で養成する必要があるとの課題が出て、平成23年度まで、「鎌倉市高齢者生活支援サポーター（以下サポーターという）養成講座」を開催し、約60名の市民が受講した。その受講者が実際に活動するために「支援の仕組みづくり」の検討が始まり、平成22年度にある程度の仕組みが考えられたが、その時点では活動には至らなかった。

平成24年度に、かまくら地域介護支援機構が独立行政法人福祉医療機構の助成を得て、「地域の高齢者を笑顔で支えるシステム作り」の事業を推進、そのうちの「鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター準備室」事業を平成24年9月から翌平成25年1月までの5か月間、検討しながら試行した。

支援する対象者や支援内容を、平成22年度の検討内容を素案として、常に鎌倉市との協働を前提にして検討してきた。また、準備室における試行事業の開始前平成24年8月にサポーター登録のための説明会を開催、養成講座修了者から15名の方が登録し、準備室の活動開始に備えた。

試行事業の5か月間に述べ15名の利用者を支援し、試行期間に支援する対象者や支援内容を、

平成22年度の円卓会議（鎌倉市・地域福祉活動推進者・鎌倉市社会福祉協議会・住民参加型生活支援サービス活動団体・かまくら地域介護支援機構等）での検討内容を参考にして、同様のメンバーで検討し実施へ向けた取り決めを行った。さらに、生活支援サポーター会議（以下サポーター会議という）、鎌倉市との合同会議を開催して支援に関する事例や課題を検討した。

その試行期間の内容を踏まえて、平成25年2月から4月まで引き続き活動を続け、平成25年5月1日より鎌倉市の委託事業として「鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター事業」を受託した。

直ちに、平成25年度第1回鎌倉市高齢者生活支援サポーター養成講座等を実施し、開設までの準備を整え、7月1日の開設を迎える事となった。

3. 平成25年度の活動について

1) 利用者一覧表

25年5月1日～26年3月31日

地域	利用 人数	性別		年代				家族形態			介護認定			
		男性	女性	60 代	70 代	80 代	90 代	独居	配偶者同居	配偶者以外同居	認定なし	支援1	支援2	介護1
鎌倉地区	2	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2
腰越地区	10	1	9	1	4	3	2	6	3	1	5	2	1	2
深沢地区	2	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	0
大船地区	5	3	2	0	1	4	0	4	0	1	0	0	3	2
玉縄地区	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	20	5	15	1	7	10	2	13	4	3	6	2	5	7

2) 受付状況

			件数	初回訪問	電話相談 調整	同行訪問	モニタリング 訪問	
5	新規	成 立	1	2			2	
		不成立	3	2	1			
6	新規	成 立	2	1		2	5	
		不成立	2	1				
7	新規	成 立	1	1		1	4	
		不成立	8	5	3			
8	新規	成 立	2	2		2	1	
		不成立	3	2	1			
9	新規	成 立	3	3		3	1	
		不成立	10	5	5			
10	新規	成 立	2	2			3	
		不成立	3	2	1			
11	新規	成 立	3	3		3	3	
		不成立	2	1	1			
12	新規	成 立	2	2		2	2	
		不成立	2	1	1			
1	新規	成 立	1	1			2	
		不成立	2	1	1			
2	新規	成 立	1	1		1	1	
		不成立	4	2	2			
3	新規	成 立	5	6		6	2	
		不成立	1	1				
合 計		成 立	24	24		24	27	
		不成立	40	23	17			

※不成立の主な理由は、サポートセンターが受けられない内容の支援を依頼された場合

○鎌倉市ファミリーサポートセンターとの調整

ファミリーサポートセンターで行っていた「高齢者の介護」部門を利用していた高齢者13名について、ファミリーサポートセンターと鎌倉市子ども相談課、高齢者いきいき課を交えて、その対応の検討会を開催した。また、26年度にサポートセンターの利用対象者になっていただけるかどうかの確認をし、説明するために訪問した。

月	11月	12月	1月	2月	3月
訪 問	2	0	2	4	5

3) 活動の内容 (年間の活動の中での代表的な事例)

支援内容	性別	年代	依頼内容	活動事例
趣味や生きがいの支援	男性	90代	今までやってきた家庭菜園が大変になってきたので、一緒にやってもらいたい	男性サポーターが、毎回2時間半ぐらい訪問して、土を耕し苗を植え、鳥や猫などをよけるネットがけなどを行っている
	女性	80代	外出支援や話し相手	女性サポーターが1時間半訪問して、趣味の俳句を作ったり、句会への外出支援を行っている
外出支援	女性	70代	公共機関を利用して友人宅へ訪問したい	初めは近所のスーパーに買い物に行き、食事を一緒にしたりして、映画鑑賞をして、徐々に外出の範囲が広がってきている
	男性	80代	健康を維持するために散歩をしたい	昼食前の1時間、話をしながら近所を散歩して、楽しんでいる
	男性	80代	週末に散歩をしたい	近所を1, 2時間散歩をして、買い物もし、喫茶店でお茶を飲んで話をすることを楽しみにしている
家事支援	女性	80代	一人でやりにくい片づけや資源ごみの整理、庭の草むしりを一緒にしてほしい	納戸の片づけ、衣類や資源ごみの整理、草むしりなどを一緒にやり、仕事の後のお茶とお話を楽しみにしている
	男性	80代	トイレやお風呂の掃除は何とかやるが、掃除機を扱うのが難しいので、手伝って欲しい	一緒に掃除をして、そのあと話をすることを楽しみにしている
	女性	80代	調理で固い物を切るのが難しく、味付けも自信がないので手伝ってほしい	一緒に献立を考え、調理を楽しみながら作っている。階段の上り下りが大変なので、資源ごみを出すのを手伝っている
見守り	女性	70代	夫が夕方外出している間、一人になるので、様子を見てほしい	片づけを一緒にしたり、作り置き料理を一緒に話をしながら食べて過ごしている

4. 高齢者生活支援サポーター養成講座

鎌倉市に暮らしている高齢者が、安心して在宅生活を過ごすうえで必要な家事支援等の軽度なサービスを提供するために、必要な知識と技術を身に付けた「高齢者生活支援サポーター」として地域で活動に参加する人材の養成を目的として開催した。

	月 日	開催場所	受講者数		登録者数	
			男性	女性	男性	女性
1	5月22日(水) 5月27日(月)	鎌倉市福祉センター	2	6	2	6
2	8月20日(火) 8月23日(金)	玉縄青少年会館	4	22	4	16
3	11月5日(火) 11月12日(火)	鎌倉市台在宅福祉サービスセンター	0	22	0	8
4	1月21日(火) 1月23日(木)	深沢学習センター	1	16	0	14
5	3月25日(火) 3月26日(水)	鎌倉市福祉センター	2	6	1	3
		合計	9	72	7	47

【カリキュラム】

	時間	講義の目的	内容	講師
第1日 3月25日	9:30~ 10:40	鎌倉市の高齢者の現状と介護保険制度、介護保険外のサービスについて知る	介護保険制度の現状と、介護保険外の高齢者への公的サービスについて	高齢者いきいき課
	10:50~ 12:00	高齢者の身体的変化と老化についてと地域福祉のあり方について知る	高齢者の特性と暮らし地域包括支援センターの役割について	高齢者いきいき課
	13:00~ 15:00	認知症の人とのコミュニケーションのあり方について知る	認知症の理解 当事者家族の話を聞く	かまくら認知症ネットワーク 代表 稲田 秀樹 かまくらりんどうの会 副代表 澁谷 郷子
	15:10~ 16:00	鎌倉市高齢者生活支援サポーター制度の仕組みを知る	生活支援サポーターの必要性	かまくら地域介護支援機構 理事長 樽井 彰子
第2日 3月26日	9:30~ 10:30	実際の活動内容を知る	1 外出支援 2 お話し相手 3 家事支援	生活支援サポーター 現在活動しているサポーターの報告
	10:40~ 11:30 12:00	生活支援サポーターのあり方 食支援について	活動の心得 高齢者の食支援	鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター 石井 敦子 料理研究家 吉田 三和子
	13:00~ 15:00	信頼関係をつくるコミュニケーションについて学ぶ	対人援助の技術と実技	キネステティックトレーナー 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 非常勤講師 小川 正子
	15:10~ 16:00		サポーターの登録について	鎌倉市高齢者生活支援サポートセンター 目黒 雅恵・石井 敦子

5. そのほかの活動

1) 研修会の開催

サポーターのスキルアップ講座 「生活の中での人との関わりをもう一度考えてみる」

日 時：3月4日（金）13：30～15：30

講 師：大坂慎介氏 衣笠病院ケアセンター トータルケアマネジメント研究会

参加者： サポーター 25名、スタッフ 5名

2) 会議

① サポーター会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開 催 日	26日	31日	28日	／	2日	6日	4日	1日	6日	10日	7日	7日	(11回)
参 加 人 数	13人	15人	21人	／	16人	14人	24人	16人	18人	25人	23人	30人	215人

② 鎌倉市との合同会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開 催 日	10日	31日	28日	26日	／	／	4日	1日	10日	7日	28日	／	(9回)
参 加 人 数	10人	9人	7人	8人	／	／	7人	6人	6人	6人	6人	／	65人

③ 事務局会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開 催 日	／	／	／	／	2日	／	／	1日	25日	29日	28日	28日	(6回)

3) 広報活動

① パンフレット作成

② かまくら地域介護支援機構ケアマネジャー連絡会、各地ケアサロン、地域包括支援センター等へ説明

6. 今後に向けて

平成26年度は、年末年始を除き月曜から金曜日まで、センター業務を行う。

地域包括ケアを推進する中で、市民が市民を支える仕組みとして、鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターの活動を多くの市民に理解していただくために、より一層の広報活動を続けていく必要があると考えている。

また、鎌倉市に暮らす高齢者が、日常生活を安心して過ごすことが出来、更に生活の質を充たすことが出来るように、高齢者生活支援サポーターの皆さんのサポート活動を見守り、その活動の支援をしていきたい。